

保	育	の	父	・	佐	竹	音	次	郎	に	学	ぶ	会	★	通	信
	音	次	郎	会	◆	I	N	F	O	◆	v	o	l	.	1	3

ホームページ：<http://otojiro.link>
eメール：info@otojiro.link
取引銀行 幡多信用金庫 下田支店 普通預金 88502
(名義) 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会 会長 浦田一雄
ゆうちょ銀行 振替口座 01650-8-43162
(名義) 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会

COVID-19(新型コロナウイルス)は第2波の兆候が現れています。本人も罹患しつつ体験を活かして『結核征伐』を執筆した音次郎は、当時にしては長命の76歳3ヶ月の天寿でした。音次郎はこれの中で「充分の注意を以て養生を続けたならば、決して回復すべからざるの病ではない」と記しました。現代に生きる私たちも「充分の注意」を大切にしたいと教えられます。

コロナ禍にある忍耐の時、保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会(通称：音次郎会)から会員の皆さまに会報(メールマガジン)をお届けします。

今号は、事実上の紙面総会で、その議案内容が中心です。

◆◇ INDEX ◇◇

- 【1】2020年度音次郎会定期総会の御案内
- 【2】2020年度定期総会議案内容
- 【3】佐竹音次郎没後80年記念会の御案内

-----◆◇◆◇

- 【1】2020年度 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会 定期総会の御案内

日時：2020(R2)年7月29日(水) 10-12時
場所：apia さつき 2F 事務所 会議室
(屋上駐車場にある別棟となっている事務所の中です)

◆議案

- 第1号議案 2019年度活動報告
- 第2号議案 2019年度収支決算・監査報告
- 第3号議案 2020年度活動計画
- 第4号議案 2020年度予算
- 第5号議案 会則の一部改正
- 第6号議案 役員の改選

音次郎会では2020年4月11日(土) 14:00～下田地区竹島防災コミュニティセンターにて総会の開催を予定しておりましたが、その週に幡多福祉保健所管内で相次いでコロナウィルス感染者が報告され、7都府県に緊急事態宣言が発令された事もあって、急きょ、延期しました。

他の会では書面開催とした所もありますが、音次郎会の場合は正式には総会の承認を受けていない状況となっています。この為、7月12日に三役会を開いて検討しました結果、今回、改めて開催の御案内をすることになりました。

ただし、この状況下にありますので、積極的な参加はお願いしません。【2】にあります議案内容を御覧の上、御意見・御要望・御質問などございましたら、事務局までお寄せ下さい。皆様の思いも併せて討議させていただきます。

なお、出席される場合は感染予防対策を自己責任においてしっかりとお取りくださるようお願い申し上げます。

-----◆◆◆◆-----
【2】2020年度定期総会議案内容

==第1号議案 2019年度活動報告==

★2019年度活動方針

設立5年目、節目となる音次郎会。引き続き、保育の父の「心」を地道に伝える事を中心として、活動を展開していきたい。行事の定例化が2年目となる。粘り強く、郷土に佐竹音次郎の「福祉の心」が広がるように取り組みたい。

到着した史料を活用した音次郎研究を加速させ、高知県立 高知城歴史博物館（城博）の支援を受けつつ、貴重な音次郎の史料を次世代へと引き継ぎたい。

城博の協力や、横山充男氏の伝記出版を好機と捉えて、それらをツールとして活用しつつ、「保育のまち」構想を広くアピールしていきたい。

昨年は初めて募金活動に取り組み、一定の成果があった。その反面、事務局所在地表記を中央公民館に置かせて頂き、助成金を栄光会と若草園から受け、会運営は外部からの多大な援助に頼っている。事務局表記期限は今年度いっぱいとなり、助成金も徐々に減額され、いよいよ音次郎会は自立の時を迎えつつある。

実り多い活動と同時に、会の運営基盤も改めて考え直す1年としたい。

<具体的目標>

- 1 プロジェクターで子供も大人にも分かりやすい視聴覚教材を制作する。
- 2 紙芝居、観光パンフレットを制作する。
- 3 高知城歴史博物館と連携をしつつ音次郎の史料整備をはかる。
- 4 音次郎の歌（演歌タイプとポップス版）の制作に取り組む。
- 5 横山充男氏の学研刊・音次郎伝記の出版記念祝賀会を中村にて開催する。
- 6 定例会、総会、講演会、墓前祭を開催する。
- 7 四万十市民大学に音次郎講座を誘致する。（幸徳秋水の会と関係）
- 8 会報（メールマガジン）を発行する。（3回を予定）
- 9 ホームページを充実させる。
- 10 会員を募集し、後継者の育成、組織の強化を図る。
- 11 ゆうちょ振替口座を活用した募金活動により運営資金を賄う。

●総括

2019年は高知県立・高知城歴史博物館（城博）館長と企画員による生誕講演会と、史料整理の支援を受け、音次郎研究基礎資料の保存と運用に大きな展望が開けた。竹島小学校6年生の訪問授業に今年もお招き頂き、地元の子供に直接、音次郎の心を伝える機会に恵まれた。

8月30日には郷土出身児童文学作家・横山充男氏による音次郎の新伝記「万人の父になる」が学研プラスより発刊された。これによって音次郎の認知度が深まることに期待したい。

いっぽう足下の活動を充実させる方針に対しては（4ページに動員数の一覧表がある通り）足踏み状態が続いている。紙芝居、音次郎の歌などの取り組みは成果としては結実しなかった。引き続き県下の児童に保育の父を語り伝えられる事を期待したい。

出版祝賀会関連で約4万円の寄付があったが開催費用に充当され、音次郎会で買い取った新伝記の在庫冊数分（約12万円分）が本年度の赤字となった。

ホームページ年間アクセス数は約800で前年より約100減少している。4ヶ国語化を実施したが、日本語以外のページはあまり閲覧されてはいない。

引き続き忍耐強く地道な活動を継続するのみである。

◎ 活動日誌 ◎

4. 8(月) 高知城歴史博物館館長と企画員来訪し講演会と今後の事を打ち合わせする
4月定例会と総会、生誕155年記念講演会の案内を会員に発送する
- 4.12(金) ホームページ更新①

- 4.13(土) 監査、4月定例会(総会準備、チラシ分配作業)、9人出席
- 4.19(金) 上岡文書公開活用の要望の回答受け(連名、中央公民館にて)
定例会報告書と議案書修正版を役員に発送する
「新版・竹島の偉人」5,000部完成する(高知新聞助成事業)
- 4.22(月) 四万十市広報に音次郎講演会チラシを全戸配布折り込み
四万十市長に講演会出席の要望を提出
音次郎史料(第4弾)が鎌倉の音次郎子孫から到着する
- 4.23(火) 樋口真吉の子孫が来訪し音次郎史跡巡りをする(角田、広井、瀬戸)
- 4.27(土) 定期総会開催、15人出席
- 5.10(金) 音次郎生誕155年講演会を城博館長と企画員の講義を中心に開催、36名参加
親睦会10人出席(浦田 安藤夫妻 広井 佐竹順子 石井県議 瀬戸 青木 森田夫妻)
- 5.14(火) 高知新聞20面に講演会の記事が掲載される(当日取材に来た平野愛弓記者)
- 5.21(火) 四万十教委より上岡文書の閲覧許可が下りる
- 5.28(火) 作詞家の吉岡和昭氏と音次郎の歌の会談(浦田ワイスにて/浦田 中平 山崎 瀬戸)
- 6. 1(土) ホームページ更新②
- 6. 3(月) メールマガジン(機関誌)Vol.10発行
- 6. 5(水) 上岡文書No.23-24「紺屋佐竹家の歴史」を閲覧する(瀬戸)
- 6. 8(土) 十次の会理事より応援の電話がある
6月定例会(音次郎紺屋町住所の特定)11人出席
- 6.27(木) 学研より音次郎伝記の校正版が届き三役でチェックを開始する
- 8. 7(水) シンガーソングライターの村井眞菜氏が来訪し史跡巡りをする(瀬戸)
- 7.16(火) 臨時三役会開催(出版祝賀会、音次郎伝記出版/浦田 安藤 瀬戸)
- 7.20(土) ホームページ更新③
- 7.24(水) 四万十市広報8月号回覧にて墓前祭周知する
- 8. 5(月) メールマガジン(機関誌)号外発行(新刊本発売日、祝賀会開催日のお知らせ)
- 8.16(金) 没後79年記念墓前祭(竹島コミュニティーセンター)開催、13人出席
祝賀会と予約販売のチラシ950通発送する(音次郎会107 同窓会242 施設601)
- 8.21(水) 臨時三役会開催(紺屋町佐竹家特定の表現について/浦田 中平 安藤 小椋 瀬戸)
「万人の父になるー佐竹音次郎物語ー」見本刷り5冊が学研から届く
- 8.22(木) 出版祝賀会の案内(メディア各社、幡多信用金庫/浦田 瀬戸)
- 8.23(金) ホームページ更新④
- 8.30(金) 「万人の父になるー佐竹音次郎物語ー」第1陣100冊到着、20冊発送する
- 8.31(土) 毎日新聞(高知の地方ページ)に新伝記が紹介される
- 9. 5(木) 旧幡多郡の保育所・幼稚園に予約販売の案内を発送する
- 9.10(火) 若草園職員会にて小椋委員が本のPRをする
- 9.28(土) 臨時定例会開催(祝賀会打ち合わせ/浦田 中平 小椋 広井 瀬戸)
- 10. 1(火) 四国銀行口座開設
- 10. 2(水) 同窓会名簿に祝賀会のチラシ217通を再度発送する
- 10. 3(木) 幡多信用金庫から幡多郡下小中学校へ音次郎伝記100冊を贈呈する
- 10. 9(水) 竹島小学校6年生総合学習5-6時間目に訪問授業(浦田 中平 瀬戸)
- 10.10(木) 竹島小、下田小中校長室に贈呈訪問(幡多信理事長 小川 浦田 瀬戸)
- 10.12(土) 10月定例会(改めて史跡巡り～綾雄氏の手紙から～)8人出席
- 10.15(火) 四万十ライオンズクラブ定例会にてPRをする
- 10.16(水) 祝賀会受付担当者会議(浦田 堀川 武田 瀬戸)
- 10.19(土) 農業新聞コラム「よもーね」に新伝記が掲載される
- 10.29(火) 祝賀会司会者打ち合わせ(浦田 野地 瀬戸)
- 10.31(木) 高知新聞に新伝記出版と祝賀会開催の記事が掲載される
- 11. 2(土) 接待夕食会(佐竹敬常務理事 野地 浦田 安藤 瀬戸)
- 11. 3(日) 戦争孤児たちの戦後史研究会会員史料見学(水野 小林 瀬戸)
新伝記出版祝賀会(新ロイヤル四万十)74人出席
- 11.11(月) 臨時定例会(祝賀会反省会/浦田 中平 安藤 沢田勝行 瀬戸)
- 11.21(木) メールマガジン(機関誌)Vol.11発行
- 11.22(金) ホームページ更新⑤
- 12.14(土) 12月定例会「新伝記『万人の父になる』読書感想と意見質問を語る会」6人出席
- 12.20(金) 中村小学校訪問(浦田 瀬戸)
- 12.27(金) 臨時三役会開催(生誕講演会について)
- 1. 3(金) 聖愛一路執筆関係者(小笠原荘子の長女)と史跡巡り4人出席

- 1.25(土) 高知新聞コラム「図書便り」に新伝記が掲載される
2. 8(土) 2月定例会「城博学芸員と史料整理」13人出席
- 3.13(金) 日本キリスト教団出版局「信徒の友」4月号に新伝記の書評が掲載される
- 3.19(木) 臨時三役会開催(2020年度事業計画の素案について)
- 3.23(月) 中村の大規模小中学校に音次郎会から5冊ずつ新伝記を贈呈(浦田)

各行事への参加者数

	2018年度	2019年度	増減
4月定例会	13	9	-4
総会	14	15	1
生誕講演会	53	36	-17
6月定例会	8	11	3
墓前祭	13	13	0
10月定例会	16	8	-8
12月定例会	4	6	2
2月定例会	6	13	7
合計	127	111	-16

ホームページ閲覧カウンタ履歴

トップページ	811
英語	22
韓国語	11
中国語(繁体)	19
中国語(簡体)	14

※上記の数字には事務局が統計上アクセスしたそれぞれ約10カウント分も含まれています。

== 第2号議案 2019年度収支決算報告 ==

<収入の部>		<支出の部>	
繰越金	526,957	講演会	38,658(チラシ代、筆耕料等)
活動収入	1,446,624	墓前祭	16,925(司式謝礼、会場費)
助成金	200,000	印刷費	41,468
寄付金	130,000	通信運搬費	117,472
募金	246,320	広報費	1,065,124(新伝記700冊購入費等)
祝賀会	178,650	消耗品費	11,803(参考図書等)
本代	691,650	雑費	2,032(振込手数料等)
預金利息	4	祝賀会	286,000(ホテル会場費等)
		次年度繰越	394,099
合計	1,973,581	合計	1,973,581
			(本年度の収支 ▲132,858)

●監査報告

2020年4月7日に若草園にて浜口貞雄・平岡和好両監事により、活動内容、会計の監査を受け、不備のない点は認められております。

== 第3号議案 2020年度 活動計画 ==

★活動方針(案)

設立満5年を迎え、郷土との定着という面では課題を覚えつつも、市民団体の活動としては毎年、一定の成果を残しつつ歩めた。

昨年度1年間、会の運営基盤を改めて考え直した結果、事務局所在地の四万十市立中央公民館との表記は、使用期限が切れることと有名無実化していることから、実態に合わせて若草園へと変更することになった。また、運営資金は助成金と寄付金で確保されているものの、約100名の会員への資料送付や情報提供に年額約10万円が費やされており、フェアに負担する意味合いからも、1人あたり年間1口1千円以上の寄付を呼びかけたい。

寄贈された史料については高知城歴史博物館の支援を受けつつ、今年度中に電子化を完了させるとともに、貴重な音次郎の史料を広く研究材料として用いられるように整備したい。

引き続き粘り強く、郷土に佐竹音次郎の「福祉の心」が広がるように取り組みたい。

<具体的目標>(案)

- 1 高知城歴史博物館と連携をしつつ音次郎の史料整備をはかる。

- 2 プロジェクターで子供も大人にも分かりやすい視聴覚教材を制作する。
- 3 紙芝居、観光パンフレットを制作する。
- 4 音次郎の歌（演歌タイプとポップス版）の制作に取り組む。
- 5 定例会、総会、講演会、墓前祭を開催する。
- 6 会報（メールマガジン）を発行する。（3回を予定）
- 7 ホームページを充実させる。
- 8 会員を募集し、後継者の育成、組織の強化を図る。
- 9 ゆうちょ振替口座を活用した募金活動により運営資金を賄う。

●年間活動計画

- 4月 7(火) 監査（於：若草園） 11(土) 総会（竹島防災センター）
 5月10(日) 生誕156年記念日講演会（JA ホール）
 6月13(土) 例会（竹島防災コミュニティーセンター）
 8月16(日) 没後80年記念会（竹島センター）
 10月10(土) 例会（竹島センター）
 12月12(土) 例会（竹島センター）
 2月13(土) 例会（竹島センター）

当初案は上記の通りでしたが、コロナ終息が長引いていることから、年度内の例会は若草園に保存してある史料整理を中心に活動する方針に変更したい。

==第4号議案 2020年度 活動予算==

＜収入の部＞		＜支出の部＞	
繰越金	394,099	講演会	100,000
活動収入	405,901	墓前祭	30,000
助成金	100,000	運営費	670,000
寄付金	100,000	印刷費	50,000
募金	100,000	通信運搬費	50,000
その他	105,898	会議費	10,000
預金利息	3	広報費	200,000
		備品費	100,000
		消耗品費	10,000
		雑費	20,000
		交通費	20,000
		予備費	210,000
合 計	800,000	合 計	800,000

※ 科目間の過不足を生じた場合は相互流用を認めるものとする。

==第5号議案 会則の一部改正==

事務局表記を実態にあわせて若草園に変更するため、会則の文言を整理する。

<現行>

第6条（役員）

本会に次の役員を置き、総会で選出し任期は2年とする。また再任は妨げない。

会 長	1名
副会長	若干名
委 員	若干名
監 事	2名

第9条（事務局）

本会は、事務局を四万十市立中央公民館内に置く。事務局員（会計員を含む）は会長が総会の承認を得て委嘱する。

<変更後>

